

県病ニュース秋号

2020年
10月
No.214

【理念】奉仕・信頼・進歩 当院は敷地内全面禁煙です。

『精神医療センター』を開所



院長 上 敏 郎
井 上 敏 郎

3月初めに県内第一号の新型コロナウイルス感染者が発生しましたが、県民全体での対応が功を奏し、4月下旬で一旦収束しました。この間、当院は感染症指定病院として患者さんの受け入れの役割を果たして参りました。今後とも油断せず感染再拡大に備えたいと思っております。

10月1日、いよいよ新たな役割を担う『精神医療センター』を開所いたします。

大分県にはこれまでも病院群輪番制による措置入院と大分大学医学部附属病院救命センター病床での身体合併症入

院対応体制がありました。しかしながら、夜間・休日の救急患者の入院受け入れが十分とは言えず、精神福祉保健法に定められた県立精神科病院が未設置であったため、平成27年度に県立精神科設立に向け基本構想の検討が開始され、平成28年度には県立病院に精神科救急用病床を設置することが決定されました。

その後、3年半後の開所を目指し、担うべき役割の明確化、医療スタッフの陣容決定、建物の設計、医療機器選定、医療情報システム構築、そして平成31年1月に本體工事が始まり、令和2年3月竣工、同年10月診療開始の流れで動いて参りました。

この計画実現に携わっていただいた全ての関係者の方々、県議会、福祉保健部、



土木建築部、工事関係者、病院関係者そして県内精神科医の方々のご理解とご協力、熱意、努力の賜物だと痛感しております。改めて心から感謝申し上げます。

今後はこの精神医療センターで県民の皆さんに末永く信頼され、支持される精神科医療の提供ができるよう職員一同努力して参る所存です。

目次

- P1 院長ごあいさつ／目次
- P2～3 精神医療センターのご案内
- P4～5 外来診療のご案内
- P6 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応について
- P7 新型コロナウイルス感染症流行の今～安心してご来院していただくために～
- P8 外来診療一覧表

2020年
10月1日

精神医療センター開設

県民ひとりひとりの「こころ」と「からだ」に寄り添い
精神科救急医療機関として安全・安心を届けます。

大分県立病院精神医療センターでは、24時間365日、他施設では対応困難な精神科急性期患者や身体合併症患者に対して、本院の身体科と一体となって、短期・集中的治療を行います。



スタッフを紹介します

さまざまな職種が入院時から関わり、質の高いチーム医療の提供を行います。

●医師

安全・安心な精神科救急医療・身体合併症医療に取り組み、さまざまな機関と連携していきます。

●看護師

他職種と連携し、患者さんの人権に配慮した安全・安心な看護を提供いたします。

●精神保健福祉士

退院後の生活に関するさまざまなお悩みや、福祉サービス・各種制度の利用についてご相談をお受けします。

●公認心理師

こころのお悩みがある方に、カウンセリングや心理検査により、解決のための相談・援助を行います。



2階 病棟

完全閉鎖病棟ですが、安全と快適な療養環境に配慮した明るくあたたかな空間です。



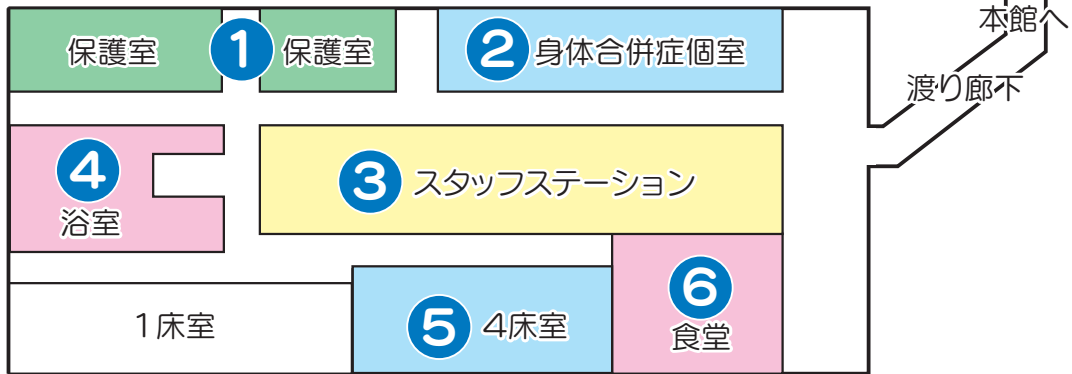
①保護室



②陰圧室(1床のみ)



③スタッフステーション



④浴室



⑤4床室



⑥食堂

1階 外来

木目調の内装とコントロールされた照明でこころが落ち着くシックな空間になりました。



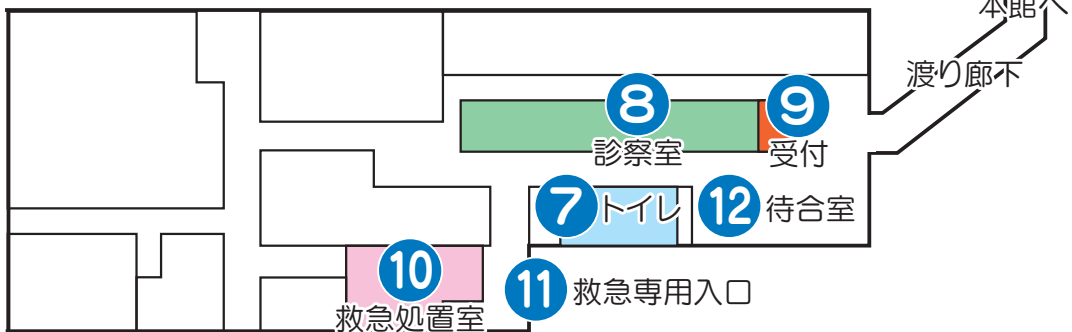
⑦トイレ



⑧診察室



⑨受付



⑩救急処置室



⑪救急専用入口



⑫待合室

2階

大規模改修終了リニューアルした外来・増築棟をご案内します

(2015.7.11~2020.9.30) 5年間かけて外来と増築棟の内装や設備を改修してきました。明るく、きれいになった各診療科の外来やリハビリテーション室をご覧ください。

リハビリ室



リハビリテーション室 (2階)

太陽の光が降り注ぐ、明るく広い開放的な空間となりました。機器も増設し、より充実したリハビリテーションを提供していきます。



外来化学療法室

20床に増床・リニューアルしました。7床のベッドと13床のリクライニングチェアを新調し、広く明るい環境でゆったりと治療を受けていただけます。



血液内科

外来化学療法室に近くなり、より安心して治療が受けられるようになりました。多職種と連携をとり支援していきます。

呼吸器腫瘍内科

場所を移転しました。移転に伴い、月曜日から金曜日までのすべての曜日で診察できるようになりました。



外科(乳腺外科)

場所を移転しました。これまでより広い診察スペースとなり、快適に診察を受けていただけます。

婦人科

女性を安心させてくれるピンクとベージュを基調にした優しく温かみのある内装になりました。デリケートな心情に寄り添った診療を心がけています。



腎臓内科

これまで腎臓内科では曜日により診察場所が違いましたが、移転により場所の移動がなくなりました。関連科とも近くなり、よりスムーズに受診できます。

膠原病リウマチ内科

場所を移転しました。より明るい診察室となっています。スムーズに快適に診察を受けていただけます。



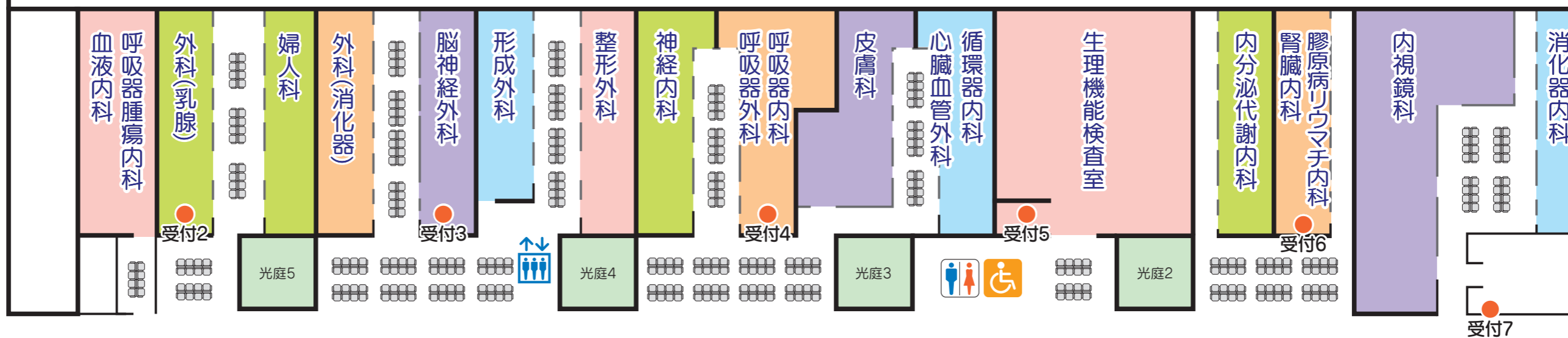
1階



外来化学療法室



受付1



トイレ

広く、使いやすい、きれいになりました。快適にお使いいただけます。



内視鏡科

検査室が5室に増え、広く明るくなりました。リハビリ室、個室の大腸前処置室も併設され、安全・快適・正確な内視鏡検査を提供していきます。



消化器内科

内装を安心感やリラックス効果がある緑色に統一し、光触媒の観葉植物が空気を清浄化する、心も和む待合室に仕上がりました。



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の 対応について

2019年12月、中華人民共和国の湖北省武漢市の肺炎集団発生が報告され、日本国内では、翌年2月にクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号が横浜港に到着し、陽性者が次々に下船し医療機関へ搬送されました。その後、感染が拡大し地方に広がる中、大分県立病院は、国内外の情報を敏感にキャッチし、患者受け入れに必要な様々な準備をしつつ、外来では日々、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が疑われる患者に対応していましたが、ついに3月、県内初めての陽性者を受け入れることとなったのです。

新型コロナウイルス感染症の感染対策としては、飛沫・接触予防策が推奨されていますが、空気予防策の必要性も提言されています。そこで、当院としては感染管理室で協議し、空気予防策を考慮して対応することを決めました。コロナウイルスは、明らかに空気感染するウイルスではないと言われてはいますが、現場のスタッフを未知の感染症から守るには、より防御性の高い対策が必須であり、対応するスタッフ自身が感染するかもしれないという不安を払拭できるという意味もあったからです。着用した防護具は写真の通り(ワンピース型防護具・ゴーグル・N95マスク・二重手袋・シューズカバー)です。防護具は使用後、自らが汚染しないよう適切に脱ぐ技術が必要になります。当院では、日ごろから新興感染症等に備え、防護具着脱、患者受け入れ訓練を定期的実施しており、今回の対応では、感染の拡大なく日ごろの訓練の成果を見ることができました。



防護具

第2波に対応しつつ次なる波にも備え、防護具を再備蓄し、これまでに受け入れがなかった妊産婦・乳幼児・透析患者をはじめとする対応マニュアルの整備が喫緊の課題です。

当初は、一部風評被害もありましたが、県民の皆様からたくさんの温かいエールをいただき、大変ありがたく感じております。

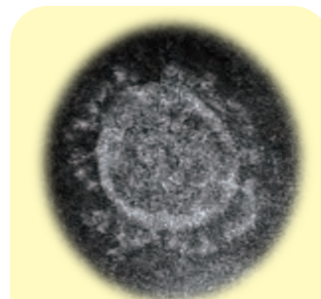
冬季に向け、季節性インフルエンザ、さらなるインバウンド(輸入)感染症等まだまだ気が抜けない時期が続きます。皆様、手指衛生(手洗い・手指消毒)、咳エチケット(感染症を他者に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュなどを使って、口や鼻をおさえること)を実践し、自身の健康管理をお願いいたします。



防護具着脱訓練



患者受け入れ訓練



ウイルス粒子の表層にみられる突起物が太陽の光冠(コロナ)のように見えることから、「コロナウイルス」という名前が付けられました。

(国立感染症研究研)

(文責 感染管理室 看護師長/感染管理認定看護師 大津 佐知江)

医療ネットワーク

新型コロナウイルス流行の今

～安心してご来院していただくために!～

患者総合支援センターでの院内感染防止対策の取組

正面玄関・時間外出入口



総合案内・受付

- ◆ マスク着用の確認と着用をお願い
- ◆ 感染症の疑いがある場合は別室にご案内し、トリアージ室で診療



外来部門

- ◆ 発熱や咳などの病状の再確認
- ◆ 来院者の検温
- ◆ 感染症流行地域への訪問および居住者・体調不良者との接触歴確認
- ◆ 医師の判断によりPCR検査実施
- ◆ 予約受診の場合、体調不良等があれば**事前に電話連絡**をいただくことを説明
- ◆ 患者呼出システムの導入
- ◆ ソーシャルディスタンス
- ◆ 環境衛生の実施

環境衛生



ソーシャルディスタンス

入院受付

- ◆ 他県に居住する家族の来院は、控えていただくことを事前説明
- ◆ 入院前の外出を控えることを説明
- ◆ 体調不良等あれば、速やかに連絡することを説明



(文責 患者総合支援センター 東原清美・宇都宮徹)

外来診療一覽表

注) 診療日が変更になる場合もありますので、予めご了承ください。
(令和2年9月1日現在)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
循環器内科		○	○	○	○	○
内分泌・代謝内科		○	○	○	○	○
消化器内科		○	○	○	○	○
腎臓内科		○	○	○	○	○
膠原病・ リウマチ内科		○	休診	○	○	○
呼吸器内科	新患 再来	○	○	○	○	○
呼吸器腫瘍内科		○	○	○	○	○
血液内科		○	○	○	○	○
神経内科		○	○	○	○	○
外科	消化器 乳腺	○	○	○	○	○
脳神経外科	手術日 休診	○	○	○	○	手術日 休診
呼吸器外科	手術日 休診	○	○	手術日 休診	○	○
心臓血管外科	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○	○
整形外科	○	○	手術日 休診	○	○	○
形成外科	休診	手術日 予約のみ	○	○	○	○
眼科	○	手術日 予約のみ	○	○	手術日 予約のみ	○

診療科	曜日	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科		○	○	手術日 休診	○	手術日 休診
婦人科	新患 再来	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
産科		○	○	○	○	○
小児科		○	○	○	○	○
新生児科		○	○	○	○	○
小児外科		○	○	○	手術日 休診	○
内視鏡科	消化管 気管支	○	○	○	○	○
皮膚科		○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
泌尿器科	新患 再来	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
精神神経科		○	○	○	○	○
緩和ケア外来		○ 15時 から	休診	休診	休診	休診
放射線科		○	○	○	○	○
歯科口腔外科		○	予約 のみ	○	予約 のみ	○
外来化学療法室		○	○	○	○	○
診療科の判断が 困難な場合の 担当診療科		消化器 内科	1・3・5週 内分泌・ 代謝内科	呼吸器 内科	神経 内科	血液 内科



JR: 大分駅からタクシーで約15分または
南大分駅からタクシーで約8分
バス: 大分駅前バス停からバス・徒歩を含めて約25分
(大分市内中心部から約25分間隔で運行)
駐車場: 有料駐車場(約400台)完備(1時間まで無料)

受付時間 午前8時～午前11時

救急患者は24時間受入

紹介による受診に関する事は…

地域医療連携室

平日(土・日・祝日除く)
午前8時15分～午後5時(受付は11時まで)
TEL 097-546-7129
FAX 097-546-7368

診療開始時間 午前8時30分

休診日 土・日・祝日・年末年始
(12月29日～1月3日)

療養中の心配事や不安などは…

患者総合支援センター

平日(土・日・祝日除く)
午前8時30分～午後5時
TEL 097-546-7125

Oita Prefectural Hospital
大分県立病院

〒870-8511 大分市豊饒2丁目8番1号

TEL 097-546-7111～2(代表) FAX 097-546-0725 総務経営課広報係
E-mail a80200@pref.oita.lg.jp ホームページ <https://www.oitapref-hosp.jp/>

※当三ニュースへのご意見・ご感想は1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

